

この度は液晶電波クロックをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書よくお読みの上、正しくご愛用下さいますようお願い申し上げます。なおこの取扱説明書はお手元に保管し必要に応じてご覧下さい。

## —保証・アフターサービス—

■保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスも海外ではできません。

■保証期間中の保証規定に基づいた修理品はお買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。

■お買上店へご持参（または発送）いただく際の運賃・諸掛費用はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします。

■保証期間中でも、無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理をご希望の場合は、有料での修理となります。

■修理のとき、部品・付属品は一部代替部品を使用させていただくこともありますのでご了承ください。

■保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は本体の修理代金のほか取扱店と修理工場との間の往復運賃諸掛費用をお客様にご負担いただきます。その場合代金が本体価格を上回る場合があります。

■保証期間中・経過後とも修理品はお客様がお買上店にお持込頂けますようお願いいたします。

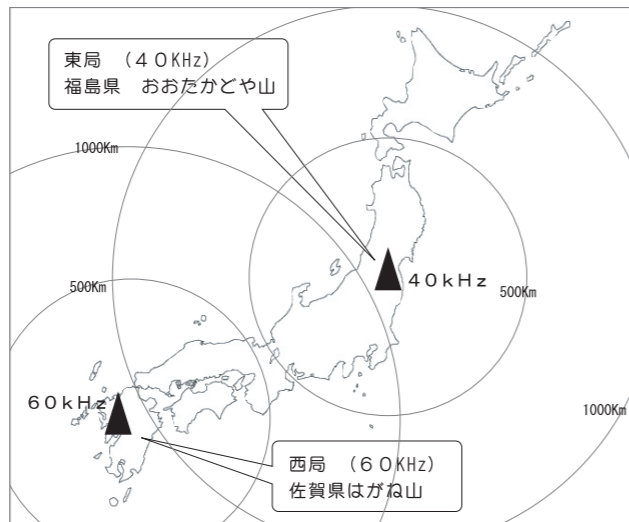
■次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。

- ①本保証書のご提示がない場合。②本保証書に販売店およびお買上日の記載がない場合 あるいは字句を書きかえられた場合。③誤ったご使用不注意、不当な修理・改造・天災地変等による故障または損傷。④ご使用中に生じる外観上の変化。（ケースガラス、その他付属品の傷など）

■電池は保証の対象外です。

## 標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、独立行政法人の情報通信研究機構（NICT）によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2ヶ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



※気候条件・置き場所・時間帯・地形・建物によっては受信出来ないことがあります。電波受信の可能地域はあくまでも目安です。図の範囲内でも電波受信出来ない場合もあります。

## お手入れについて

- ベンジン・シンナー・アルコール各種、ブラシなどは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
- 殺虫剤・ヘアスプレーなどがかからないようにして下さい。変色変形の恐れがあります。
- プラスチック製の時計の場合、枠を拭くときは湿ったやわらかい布で拭いて下さい。汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤を少量布につけて拭き、拭いた後で乾拭きして下さい。
- 木枠・金属枠の時計の場合、汚れやほこりを取るときは柔らかい布で乾拭きして下さい。

※お客様が分解しますと修正不可能になる場合やケガの恐れがあり大変危険です。また、保証の対象外となりますのでご注意ください。

## 電波時計について

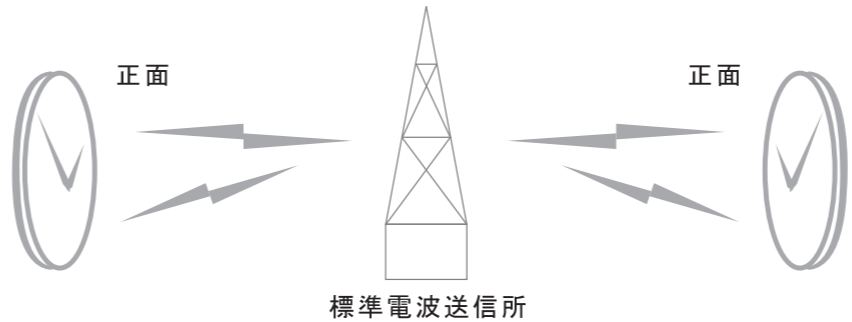
本機は、電波を受信する時計です。正常に機能させるために、以下のような場所では電波受信しにくくなりますのでご注意ください。



- ビルなどの地下。
- 高圧線、架線の近く。
- 金属製雨戸やブラインドの近く。
- 自動車・電車・飛行機などの乗り物の中。
- テレビなどの家庭電化製品やパソコンなどのOA機器の近く。
- 工事現場・空港・交通量の多いところなど電波障害の起きるところ。
- 金属板の上や山などの電波を遮断するところや、朝夕の時間帯や雨天の時。

## [ 正しい電波受信 ]

受信が困難な場合は、受信条件の良い場所に本機を移動すれば通常の機能が作動して正しい時刻を表示するようになります。

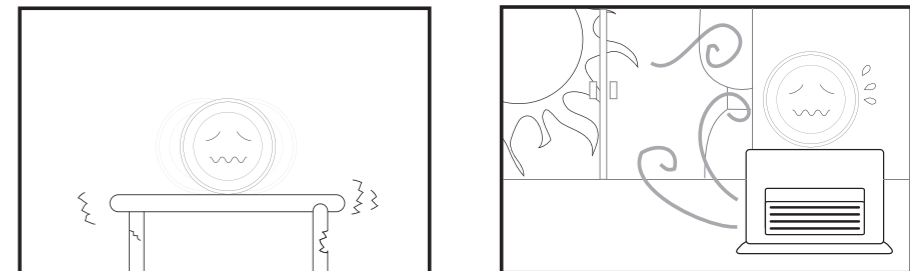


本機の正面を電波送信所に向かい合うように置くと、受信しやすくなります。

- 電波を受信しない場合は窓際まで行き、電波送信所の方を向かせ再度電波の受信をしてください。

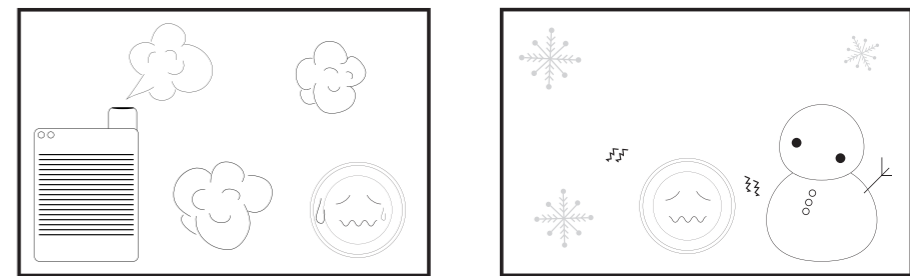
## 使用場所について

下記のような場所では使用しないで下さい。機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こす事があります。また本商品は業務用ではありません。



■振動のある場所

■暑い場所



■湿気の多い場所

■寒い場所

- 温度が40度以上になる所や直射日光のあたる場所。屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が0度以下になる所。プラスチック部品や電池の劣化が起こる事があります。
- 塵、ほこりが多い所。空気中に舞い上がったゴミが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーの側や強い磁気のある所。磁力の影響で進み、遅れを生じたり時計が止まることがあります。
- 浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まる事があります。
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。壁や敷物および時計を傷めることがあります。

## 安全上のご注意 ～必ずお守りください～

「注意」「警告」の記載事項を必ず守って下さい。

### ⚠ 注意

この表示の欄は表示内容と異なった使い方をしたときに「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

### ⚠ 警告

この表示の欄は表示内容と異なった使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

### ⚠ 注意

- 電池の使い方を間違えると電池が発熱、液漏れ、破裂してケガや機器の故障の原因となります。
  - 分解・改造はおやめ下さい。
  - 強いショックを与えないで下さい。
  - 不安定な場所には時計を設置しないで下さい。
- ※落下や転倒により、ケガおよび器物を破損する恐れがあります。

## 電池について

### ⚠ 注意

- 種類の違う電池を混ぜて使用しないで下さい。
- 電池交換する際は新しい電池とすべて交換して下さい。
- 使用済みの電池は、すぐに機器から取り出して下さい。
- 長時間使用しない場合は電池を機器から取り出して下さい。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないで下さい。
- 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけたりしないで下さい。
- 直射日光や高温多湿の場所を避けて保管して下さい。
- 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換することをおすすめします。また時計を使わないときは電池をすべてはずして下さい。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり傷めたりする恐れがあります。

### ⚠ 警告

- この内蔵の充電バッテリーは必ずこの時計にお使いください。また必ずこの時計を使用して再充電してください。決して外部の充電器で充電しないでください。
- 内蔵の充電式バッテリーを他の充電式バッテリー、或いは通常の電池と交換しないでください。
- 電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。
- 電池を飲み込んだ場合はすぐに医師と相談して下さい。
- 分解や過熱、火に入れるなどしないで下さい。
- +-の向きを正しく入れて下さい。
- +-をショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯、保管しないで下さい。
- 電池からもれた液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは大量のきれいな水で洗い流しすぐに医師の治療を受けて下さい。失明やケガなどの恐れがあります。

## 保証書 (Guarantee)

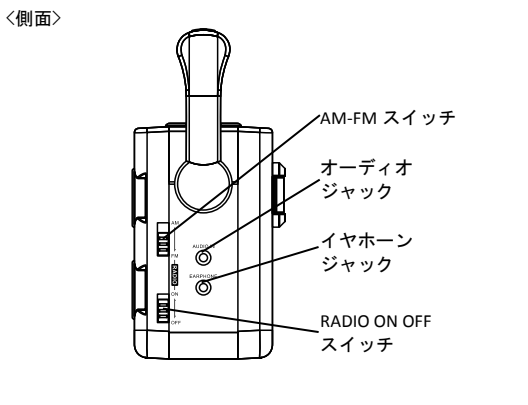
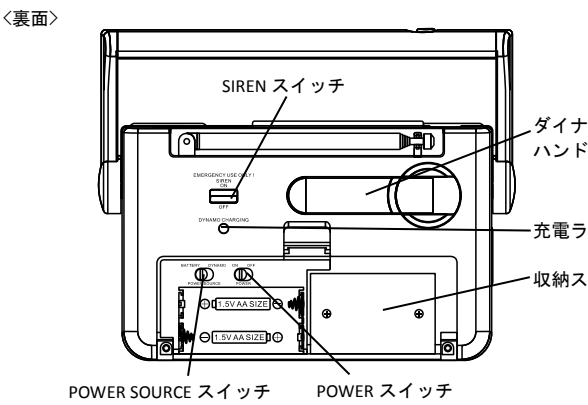
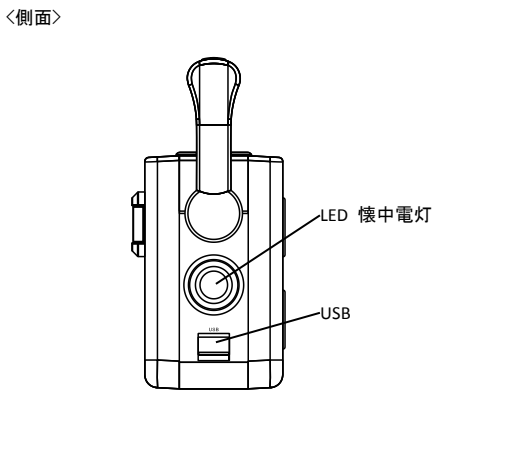
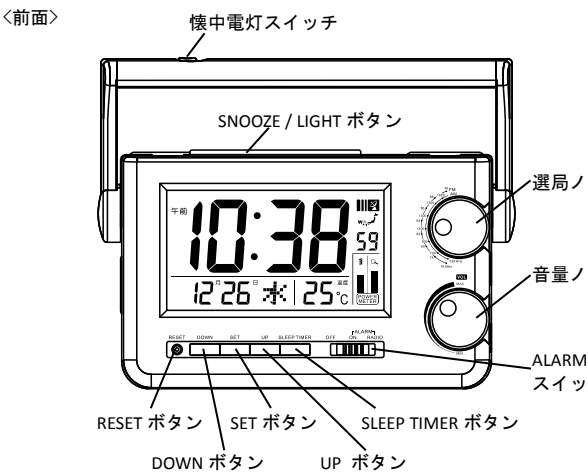
品番	
お買上げ日	年 月 日
保証期間	お買上日より1年間
お客様	ご氏名
	TEL
	ご住所
販売店	

本保証書は日本国内のみ有効です。  
This guarantee is valid only in Japan.

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。



## ご使用方法



### 電池の挿入とパワーメーター

この時計には単三乾電池を2本使用します。電池を挿入または交換する際には本体裏側にある電池蓋を開け、LED電灯がOFF（懐中電灯スイッチがOFF）になっていること、電池収納部にあるPOWER スイッチが“OFF”の位置にあることを確認してください。電池マーク（+）にしたがって2本の単三電池を挿入してください。次にPOWER スイッチを“ON”にいれ、RESET ボタンを一度押してください。これで時計の使用準備は完了です。

**警告：** 種類の異なる電池や、新品の電池と使用された電池を一緒に使用しないでください。

この時計には乾電池と内蔵充電電池の状態を示すために2つのパワー・メーターが使用されています。🔋マークの下にあるパワーメーターは乾電池の状態を、また🔌マークの下にあるパワー・メーターは充電電池の状態を示しています。新しい乾電池が挿入されると、パワー・メーターは“FULL”マークをディスプレイ上に表示します。（個々の電池の状態によっては表示されない場合もあります）

パワー・メーターはフルパワーから殆ど残りが無い状態で12段階で表示します。特に緊急非常時において時計を一定時間機能させるために、定期的な乾電池の交換と充電電池のチャージ（再充電）をお勧めします。パワー（容量）レベルが非常に低く下がるまで交換（或いは充電）を待つことはお勧めしません。

**重要：**電池交換の後、ご使用になる前にRESET ボタンを押してください。

**充電池について：**  
充電電池は再充電までに全部消費してしまう必要はありません。充電池用パワー・メーターが数段階の容量低下を示した場合は、USBを使用していつでも充電することが出来ます。

また、ダイナモによる充電によりパワーレベルを常に一定に保つようにしてください。

### 電源の選択

毎日ご使用になる場合は電源切替スイッチを“BATTERY”の位置にセットしておいてください（乾電池からのパワーを使うため）。充電池のご使用は非常時だけにしてください。充電池は非常時に備えて常にフル充電に近い状態を保つようにしてください。乾電池或いは内蔵充電池のどちらかの電源を選択して使うことが出来ます。電池収納部の中にはPOWER SOURCE スイッチ（電源切替スイッチ）があります。このスイッチを“BATTERY”の位置に合わせると、ラジオとLED懐中電灯の使用電源は乾電池となり、“BACK-UP”の位置に合わせると、ラジオ、LED懐中電灯の使用電源は充電池となります。

注：クロックはソーラー発電又は充電池を電源としています。

### 時刻電波の受信

この時計はリセットされると標準電波を自動的にサーチします。ディスプレイ右上の電波マーク（📶📶📶）が点滅し始め、受信中であることを表します。時刻電波を受信すると3～15分で同期し、受信した時刻を表示します。この時電波マークはディスプレイ上に3本のバー（点滅は停止）を表示し続け、受信が成功したことを表します。

**注：**  
標準電波の受信中に時刻やカレンダーの設定を行ったり、アラームがなった時は直ちに受信を停止します。

**注意：**  
この時計は標準電波の受信によりその機能を果たしますので、使用場所により電波が弱すぎたり、正しく受信できないことがあります。この場合は電波マークが消え、受信に失敗したことを表しますので、時計を回転させるか別の場所へ移動させて、うまく受信をさせてみてください。SET ボタンを一度押し、受信を再開してください。受信できない場合は手動で時刻修正を行ってください。

### 手動による時刻、カレンダー修正方法

時刻及びカレンダーを設定（修正）するにはSET ボタンを約2秒間押してください。年数字が点滅します。UP ボタンまたはDOWN ボタンを押して修正してください。SET ボタンを一度押してください。月と日の数字が点滅します。UP ボタンまたはDOWN ボタンを押して修正してください。一度押すごとに1日が修正されます。月末（または月初）を過ぎた場合は月が変わります。

SET ボタンを一度押してください。時と分の数字が点滅します。UP ボタンまたはDOWN ボタンを押して修正してください。一度押すごとに1分修正されます。“00”分を過ぎると時が変わります。SET ボタンを一度押し、設定モードを終了します。

**注：**  
1. 修正中にUP ボタンまたはDOWN ボタンを押し続けると早送り出来ます。  
2. 修正中に30秒以上何もせず時計をそのままにしておくと、設定モードは自動的に終了します。

### ラジオの使い方

ラジオをつけるにはRADIO ON OFF スイッチを“ON”の位置に合わせます。次にAM-FM スイッチによりAMまたはFMを選択します。選局ノブをまわして希望のラジオ局に合わせてください。音量ノブをまわして音量を調整します。

#### スリープ・タイマー（SLEEP TIMER）の使い方

ラジオを聞きながら眠りたい時に使用します。ラジオをOFFにするまでの時間を設定し、お休みください。設定した時間が経過すると、自動的にラジオがOFFになります。タイマーを設定するためにはSLEEP TIMER ボタンを2秒程押して下さい。ディスプレイの温度の部分がタイマー表示に変わり、タイマー数字が点滅します。タイマーの初期設定時間は60分ですが、SLEEP TIME R ボタンを一回押すごとに10分単位で、50、40、30、20、10分まで設定することが出来ます。タイマーの設定を終了するにはSLEEP TIMER ボタンを2秒程押すか、時計を約30秒間そのままにしてください。

スリープ・タイマーをスタートするにはSLEEP TIMER ボタンを一度押してください。ラジオがONとなり、“分”マークが点滅を始め、タイマーがカウント・ダウンを始めます。設定した時間を過ぎるとラジオは自動的にOFFになります。スリープ・タイマー使用中にSLEEP TIMER ボタンを一度押すとタイマーは停止し、ラジオもOFFになります。“分”マークも点滅を停止し、約30秒後にタイマー数字は温度表示に戻ります。

### アラーム機能の使い方

アラーム時刻のセットを始めるには、UP ボタンまたはDOWN ボタンを一度押してください。カレンダーの位置にアラーム時刻が点滅します。UP ボタンまたはDOWN ボタンを押すと“分”表示が進んだり、戻ったりしますので、起きたい時間に時刻を合わせます。ボタンを押し続けると早送り出来ます。アラームのセットを終るには、SET ボタンを一度押すか、時計を約5秒間そのままにしてください。

電子音アラームまたはラジオアラームのどちらかにセット出来ます。

電子音アラームを使用する：ALARM スイッチを“ON”にセットしてください。アラームマーク（🔔🔔🔔）が表示されます。時計の時刻表示がアラーム時刻になると電子音アラームが約4分間鳴ります。SNOOZE / LIGHT ボタンを押すとアラームは一度止まりますが、スヌーズ機能により約5分後に再び鳴り始めます。SNOOZE / LIGHT ボタンを押さない場合、アラームは約4分後に止まりますが、自動的にスヌーズ機能が働き、約5分後に再び鳴ります。スヌーズ機能を停止させるにはALARM スイッチを“OFF”にしてください。

注：自動スヌーズ機能は最大8回まで使用出来、8回目に4分間鳴った後、アラームは自動的に完全停止します。

注：電子音の音量は“音量ノブ”で調整できます。

注：ラジオを使用中に電子音アラームがなった場合、その間ラジオは停止します。

ラジオアラームを使用する：ALARM スイッチを“RADIO”の位置にセットしてください。ラジオアラームマーク（📻🔔🔔🔔）が表示されます。アラーム設定時刻になると、自動的にラジオがONになります。約16分後に自動的にラジオがOFFになります。ラジオアラームを止めるにはアラームスイッチを“OFF”の位置にセットしてください。

**注：**  
1. ラジオアラームを使用する場合スヌーズ機能はご使用になれません。  
2. ラジオアラームをご使用になる前に、ラジオの周波数をご希望のラジオ局に合わせてください。  
3. 電子音アラーム、ラジオアラーム共、ご使用になる前には音量をご希望の音量に合わせてください。

### バックライトの使い方

SNOOZE / LIGHT ボタンを押すとバックライト機能が働き、ディスプレイが約4秒間明るくなります。

### エコ・モード

電池の消費を最小にするため、周囲が暗い時はディスプレイの表示が自動的に消えます。（🌙🌙🌙マークのみ表示されます）

### LED懐中電灯

懐中電灯をつける時は懐中電灯スイッチを“ON”にしてください。消す時は“OFF”にしてください。懐中電灯が“ON”の状態の時は、ディスプレイは自動的に明るくなります。懐中電灯をご使用中、ラジオの使用は出来なくなります。

**危険**  
点灯中の懐中電灯を人の眼に向けないでください。

### 内蔵充電電池の充電（チャージ）

時計本体上部の太陽電池は、充電池をチャージするための電気を発電します。

本体裏面に組み込まれたダイナモ（発電機）を使用してチャージをする時、ハンドルを一定のスピードで回してください。“CHARGING INDICATOR”（充電ランプ）が点灯します。充電池のパワー・メーターがFULLマークを示したら、チャージを停止してください。

USBを使用してクロック本体をPCにつないで充電池をチャージする時（注：接続コードはご自身でご用意ください）充電池のパワー・メーターがFULLマークを示したら、チャージを停止してください。

注：チャージの特性から、チャージ終了後は、チャージ中と比較してパワー・メーターの値が低くなる事があります。

### 携帯電話のチャージ方法

携帯電話をクロック本体のUSBポートに接続してください。（接続用コードはご自身でご用意ください）次にダイナモ（発電機）を一定のスピードで回し、携帯電話を充電してください。

弊社は本製品を携帯電話の充電に使用した際にデータが損失、損傷しても一切責任を負いません。また携帯電話の故障、損傷に対しても一切責任を負いません。

### オーディオ・イン及びイヤホン・ジャックについて

オーディオ・イン機能を利用してお好みの音楽をお聴きください。MP3（または他の音響装置）を本体の“AUDIO IN JACK”（以下=オーディオ・ジャック）に接続してください。（接続コードはご自身でご用意ください）

イヤホンを使用するには、イヤホン（製品には含まれていません）を“EARPHONE JACK”（以下=イヤホン・ジャック）に接続してください。

### サイレン

SIREN スイッチを“ON”にするとサイレンが鳴ります。

注：サイレンの音量は、音量ノブで調整出来ます。

**警告：**サイレンは緊急時のみにご使用ください。

**重要事項：**  
イヤホーンをご使用中にSIREN スイッチがONに入ると、サイレンはイヤホーンを通して鳴ります。

“AUDIO IN” 機能を使用中（例：MP3プレイヤーからの音楽を演奏中など）はSIREN スイッチがONになってもサイレンは鳴りません。

**危険！**  
サイレン音は（特に音量が最大になっている時など）非常に大きいので、サイレンを使用する時はクロック本体を耳のそばに置かないでください。またイヤホン使用中はサイレンを使用しないでください。

### 製品仕様

<時計機能>  
**■**東日本、西日本の標準電波送信局を自動選局する電波修正機能付時計。  
**■**時計精度：平均月差＋／－30秒以内（常温での使用時）（電波受信による時刻修正を行わない場合）  
**■**時刻表示：時、分、秒、月、日、曜日（カレンダーは日本語表示）  
**■**アラーム：4分間の電子音アラーム、または16分間のラジオアラーム。  
**■**スヌーズ機能：5分間自動スヌーズ機能（電子音アラーム使用時）  
**■**ラジオ・スリープタイマー：10分間隔で最大60分まで設定可能。  
**■**バックライト。SNOOZE / LIGHT ボタンを押して点灯。  
**■**エコ・モード：周囲が暗く、10 lux +/- 10 lux (ルクス) 以下の時は、ディスプレイ表示が自動的に消え、バッテリーの消費を節約。  
**■**2電源方式：ソーラー電池または内蔵充電電池のいずれかを選んで使用。

<温度計測>  
**■**使用温度範囲：0℃～+50℃  
**■**室温表示：-9℃～+70℃ 精度：±3℃（-9℃以下はLL表示、70℃以上ではHH表示）

<ラジオ機能>  
**■**AM：520～1620KHz  
**■**FM ステレオ：76～90MHz  
**■**ステレオスピーカー付  
**■**3mmステレオオーディオ・入力ジャック：MP3、スマートホーン等対応。  
**■**3mmステレオオーディオ・イヤホンジャック。  
**■**電源：単三乾電池2本又は内蔵充電池／USB（バックアップモード時）  
**■**最低電圧：2.2V（パワー・メーター表示バー6本が目安）  
**■**時計と連動したラジオアラーム及びスリープタイマー機能

<懐中電灯>  
**■**明るさ：約20 lm.s（ルーメン）  
**■**電源：単三乾電池2本又は内蔵充電池／USB（バックアップモード時）  
**■**最低電圧：0.7V／電池以上

<サイレン>  
**■**電源：単三乾電池2本又は内蔵充電池  
**■**音量：約85 +/-5 db（デシベル）  
**■**最低電圧：2.4V（パワーメーター表示バー7本以上が目安）

<パワーモニターシステム>  
**■**150回転／1分で2分間回した場合、約4分間のラジオ（通常の音量）と約2分間の携帯通話（携帯機種により異なる事があります）が可能な電力が充電されます。

<内蔵電池の充電>  
**■**内蔵充電電池はソーラー発電、ダイナモ（発電機）、あるいはPC接続（USB使用）により充電。